

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事 殿		平成24年 6 月 13 日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 京都府綾部市城山町8番地		氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 綾部エンブラ株式会社 代表取締役 西川 勝彦
環境マネジメントシステムの名称	ISO 14001	
適用範囲	ゲンゼ(株)エンブラ事業部江南工場、綾部エンブラ株式会社城山工場	
導入年月日	2002年1月18日	
認証番号	城山工場：JQA-EM2091	
基本方針	ゲンゼ株式会社 エンブラ事業部江南工場及び、綾部エンブラ株式会社は、エンジニアリングプラスチック製品の開発から生産に至る、全ての事業活動と、これらの製品・サービスの環境影響を低減し、また、生物多様性の保全に配慮するために、次の方針に基づき環境マネジメント活動を推進します。	
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	<ul style="list-style-type: none"> 1. 省エネルギー : 2009年度比0.3%低減 2. 溶剤の有効利用 : 溶剤排出量維持(09年 指数4.6) 3. 廃棄物削減 : 不良品廃棄物0.1%減(目標指数3.8) 	
目標を達成するための取組の内容	<ul style="list-style-type: none"> 1. エネルギー管理標準による空調適正温度設定と遵守/トッパラン変圧器への更新/ポンプ等の負荷に応じた流量制御/乾燥炉の断熱 /成形室気流改善による冷暖房効率向上/連続炉廃熱利用暖房による燃料削減/温水ポンプの高効率モーターへの更新/高効率照明器具への更新 2. 膜厚コントロール精度向上による原材料の削減 3. 生産歩留り向上 = 不良品の削減 	
目標を達成するための取組の進捗状況	<p>実施済み事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 1. エネルギー管理標準による空調適正温度設定遵守/トッパラン変圧器への更新/温水ポンプおよび冷却水ポンプの負荷に応じた流量制御(インバーター制御化)/連続炉廃熱利用暖房の実施 2. 膜厚コントロール精度向上による原材料の削減 3. 生産歩留り向上 : 不良項目別不良削減活動計画に準じて実施中。 	
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	計画通りに実施できており、問題なし	
事業活動に係る法令の遵守の状況	本社管理/発行の条例も含む、法規改訂情報をもとに遵法どおりか毎月確認。必要届出の遅延が無いが、行政届出計画一覧に基づき、月毎に確認を実施。これらの管理の元、現状は問題なし	
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	<p>「マネジメントレビュー基準」に従って、環境マネジメントシステムの見直しを行い、システム改善の機会があるかどうか及びシステム変更の必要性について検討する。</p> <p>見直しは各種インプット情報を受け、年2回(6月及び12月)の実施を原則とし実施する。見直しは次の項目について考慮するよう実施する。</p> <p>内部環境監査結果及び環境影響評価の結果を含む当工場の環境パフォーマンス 法的要求事項及び組織が同意するその他の要求事項の順守評価報告 利害関係者からの申し入れ、苦情、交渉、その他の情報 など</p>	

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムの内容について第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。